



FRANKLIN  
TEMPLETON

LM・ニュージーランド公社債ファンド  
(毎月分配型)  
愛称：キウイ

運用報告書（全体版）

第78期 決算日 2020年12月15日

第79期 決算日 2021年1月15日

第80期 決算日 2021年2月15日

第81期 決算日 2021年3月15日

第82期 決算日 2021年4月15日

第83期 決算日 2021年5月17日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年6月16日～2024年5月15日まで	
運用方針	主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ニュージーランド公社債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ニュージーランド公社債マザーファンド	主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月15日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：  
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「LM・ニュージーランド公社債ファンド（毎月分配型）」は、2021年5月17日に第83期の決算を行いましたので、第78期、第79期、第80期、第81期、第82期、第83期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

(旧：レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社)

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者  
関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク  
傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
54期(2018年12月17日)	8,575	30	0.6	96.9	—	3,112	
55期(2019年1月15日)	8,294	30	△2.9	96.7	—	2,995	
56期(2019年2月15日)	8,432	30	2.0	96.9	—	3,022	
57期(2019年3月15日)	8,597	30	2.3	97.2	—	3,032	
58期(2019年4月15日)	8,511	30	△0.7	96.8	—	2,910	
59期(2019年5月15日)	8,142	30	△4.0	97.2	—	2,653	
60期(2019年6月17日)	8,031	30	△1.0	97.6	—	2,562	
61期(2019年7月16日)	8,233	30	2.9	96.7	—	2,605	
62期(2019年8月15日)	7,915	30	△3.5	96.9	—	2,483	
63期(2019年9月17日)	7,856	30	△0.4	97.7	—	2,437	
64期(2019年10月15日)	7,855	15	0.2	97.0	—	2,395	
65期(2019年11月15日)	7,875	15	0.4	98.3	—	2,333	
66期(2019年12月16日)	8,101	15	3.1	98.8	—	2,355	
67期(2020年1月15日)	8,173	15	1.1	95.9	—	2,326	
68期(2020年2月17日)	7,976	15	△2.2	96.5	—	2,237	
69期(2020年3月16日)	7,305	15	△8.2	97.2	—	2,000	
70期(2020年4月15日)	7,451	15	2.2	96.9	—	2,028	
71期(2020年5月15日)	7,564	15	1.7	98.7	—	2,047	
72期(2020年6月15日)	7,989	15	5.8	98.1	—	2,150	
73期(2020年7月15日)	8,119	15	1.8	97.0	—	2,164	
74期(2020年8月17日)	8,141	15	0.5	97.5	—	2,122	
75期(2020年9月15日)	8,290	15	2.0	97.2	—	2,087	
76期(2020年10月15日)	8,203	15	△0.9	94.1	—	2,046	
77期(2020年11月16日)	8,306	15	1.4	98.1	—	2,004	
78期(2020年12月15日)	8,474	15	2.2	98.1	—	1,962	
79期(2021年1月15日)	8,507	15	0.6	97.6	—	1,939	
80期(2021年2月15日)	8,515	15	0.3	97.1	—	1,892	
81期(2021年3月15日)	8,617	15	1.4	97.3	—	1,890	
82期(2021年4月15日)	8,577	15	△0.3	97.7	—	1,852	
83期(2021年5月17日)	8,624	15	0.7	98.2	—	1,821	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第78期	(期 首) 2020年11月16日	円 8,306	% —		% 98.1		% —
	11月末	8,406	1.2		98.7		—
	(期 末) 2020年12月15日	8,489	2.2		98.1		—
第79期	(期 首) 2020年12月15日	8,474	—		98.1		—
	12月末	8,460	△0.2		97.6		—
	(期 末) 2021年1月15日	8,522	0.6		97.6		—
第80期	(期 首) 2021年1月15日	8,507	—		97.6		—
	1月末	8,489	△0.2		96.9		—
	(期 末) 2021年2月15日	8,530	0.3		97.1		—
第81期	(期 首) 2021年2月15日	8,515	—		97.1		—
	2月末	8,483	△0.4		96.7		—
	(期 末) 2021年3月15日	8,632	1.4		97.3		—
第82期	(期 首) 2021年3月15日	8,617	—		97.3		—
	3月末	8,508	△1.3		97.4		—
	(期 末) 2021年4月15日	8,592	△0.3		97.7		—
第83期	(期 首) 2021年4月15日	8,577	—		97.7		—
	4月末	8,710	1.6		96.0		—
	(期 末) 2021年5月17日	8,639	0.7		98.2		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

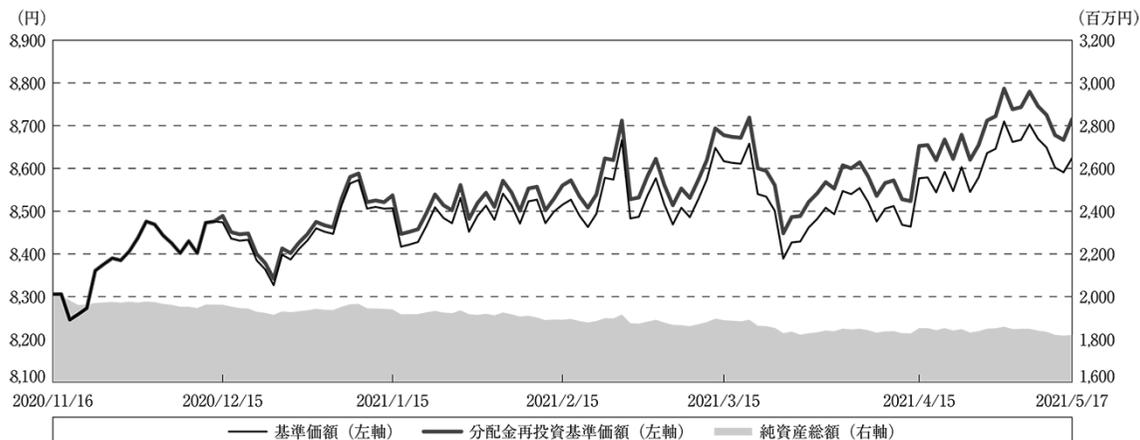
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2020年11月17日～2021年5月17日)



第78期首：8,306円

第83期末：8,624円 (既払分配金(税込み):90円)

騰落率：4.9% (分配金再投資ベース)

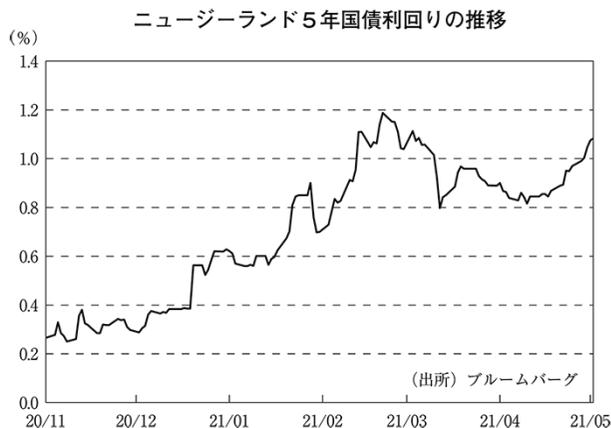
- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2020年11月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラス(分配金再投資ベース)となりました。為替相場がニュージーランドドル(NZドル)高・円安となったことから、為替損益がプラスとなりました。また、公社債利金も手堅く確保しました。一方、公社債損益については、債券利回りが上昇(価格は下落)したことからマイナスとなりました。

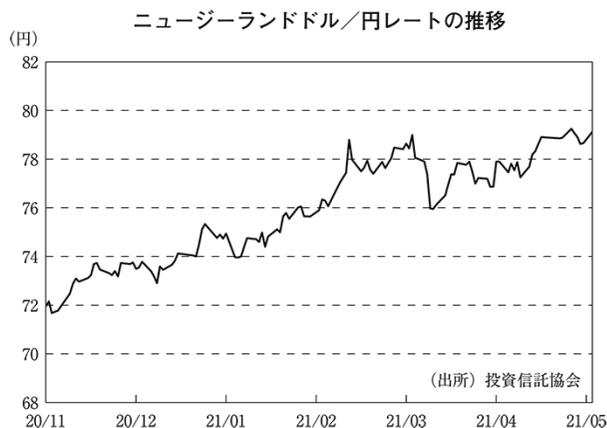
当作成期のニュージーランド債券市場は、利回りが上昇しました。期の前半は、新型コロナウイルスのワクチンの早期普及への期待が高まり、経済活動が正常化するとの見方が広がったことなどから、利回りは上昇しました。期の半ばは、米バイデン新政権下での財政拡大観測から米国国債利回りが上昇した影響を受けて、ニュージーランドの債券利回りも上昇しました。さらに、雇用統計の改善を受けてニュージーランド準備銀行（RBNZ）による追加利下げ観測が後退したことなどから、利回りは上昇しました。期の後半は、ニュージーランド政府が住宅価格の高騰を抑制するための措置を発表したことを受けて、RBNZによる利上げ観測が後退したことから、利回りは一時大きく低下しました。その後もRBNZによる緩和的な金融政策が続くとの見方を背景に、利回りは低下基調となりましたが、当作成期末にかけては上昇しました。

社債セクターについては、国債利回りの上昇や株式市場の下落などを背景に、軟調な展開となりました。



当作成期のNZドル・円相場は、NZドル高・円安となりました。期の前半は、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が強まりリスク回避姿勢が緩んだことなどから、NZドル買い・円売りが優勢となりました。その後は、欧米における新型コロナウイルス感染再拡大を受けて伸び悩む場面もありましたが、債券利回りの上昇などを背景に、NZドルは対円で概ね底堅く推移しました。期の半ばは、米バイデン新政権下での財政拡大観測から米国国債利回りが上昇した影響や、雇用統計の改善を受けてRBNZによる追加利下げ観測が後退し、ニュージーランドの債券利回りが上昇した

ことなどを背景に、NZドル買い・円売りが優勢となりました。期の後半は、ニュージーランド政府が住宅価格の高騰を抑制するための措置を発表したことを受けて、RBNZによる利上げ観測が後退したことから、NZドルは一時対円で下落しました。しかし、その後は、ニュージーランド経済の回復期待が強まったことや、商品価格が高水準で推移したことなどを背景に、NZドル買い・円売りが優勢となりました。



当ファンドは、「LM・ニュージーランド公社債マザーファンド」を通じて、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。取得時において、原則として1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3以上）の格付けが付与された、またはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債に投資しております。当作成期の運用に当たっては慎重な方針で臨みました。資産配分については、金融債などの社債を厚めとしました。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

## 分配金

(2020年11月17日～2021年5月17日)

当作成期の分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2020年11月17日～ 2020年12月15日	2020年12月16日～ 2021年1月15日	2021年1月16日～ 2021年2月15日	2021年2月16日～ 2021年3月15日	2021年3月16日～ 2021年4月15日	2021年4月16日～ 2021年5月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.177%	15 0.176%	15 0.176%	15 0.174%	15 0.175%	15 0.174%
当期の収益	15	15	15	15	12	15
当期の収益以外	—	—	—	—	2	—
翌期繰越分配対象額	373	376	377	381	379	384

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年11月17日～2021年5月17日)

項 目	第78期～第83期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 61	% 0.713	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(29)	(0.346)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(29)	(0.346)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.074	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 4 )	(0.049)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 等 費 用 )	( 1 )	(0.017)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	67	0.787	
作成期間の平均基準価額は、8,509円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

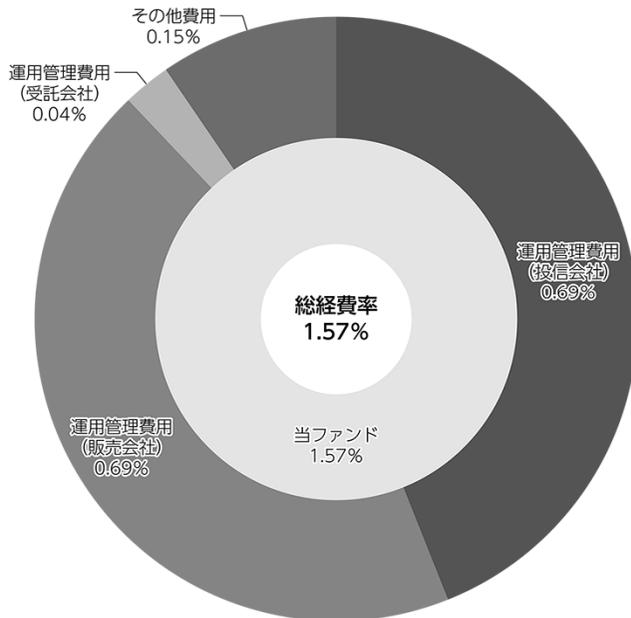
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.57%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年11月17日～2021年5月17日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第78期～第83期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・ニュージーランド公社債マザーファンド	千口 9,763	千円 11,884	千口 249,455	千円 301,504

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年11月17日～2021年5月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2020年11月17日～2021年5月17日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年11月17日～2021年5月17日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2021年5月17日現在)

### 親投資信託残高

銘柄	第77期末	第83期末	
	口数	口数	評価額
LM・ニュージーランド公社債マザーファンド	千口 1,706,310	千口 1,466,618	千円 1,826,673

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2021年5月17日現在)

項 目	第83期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
LM・ニュージーランド公社債マザーファンド	1,826,673	99.7
コール・ローン等、その他	5,027	0.3
投資信託財産総額	1,831,700	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ニュージーランド公社債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(1,821,903千円)の投資信託財産総額(1,902,842千円)に対する比率は95.7%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1ニュージーランドドル=79.13円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
	2020年12月15日現在	2021年1月15日現在	2021年2月15日現在	2021年3月15日現在	2021年4月15日現在	2021年5月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,969,005,955	1,950,101,898	1,905,471,319	1,895,921,079	1,858,497,577	1,831,700,057
LM・ニュージーランド公社債マザーファンド(評価額)	1,968,175,574	1,945,839,716	1,897,997,151	1,895,614,035	1,858,407,314	1,826,673,714
未収入金	830,381	4,262,182	7,474,168	307,044	90,263	5,026,343
(B) 負債	6,620,222	10,126,345	13,217,502	5,736,944	5,653,046	10,587,911
未払収益分配金	3,473,707	3,420,558	3,333,577	3,290,340	3,240,247	3,167,503
未払解約金	830,381	4,262,182	7,474,168	307,044	90,263	5,026,343
未払信託報酬	2,237,368	2,360,665	2,328,024	2,066,984	2,243,730	2,313,218
その他未払費用	78,766	82,940	81,733	72,576	78,806	80,847
(C) 純資産総額(A-B)	1,962,385,733	1,939,975,553	1,892,253,817	1,890,184,135	1,852,844,531	1,821,112,146
元本	2,315,804,923	2,280,372,521	2,222,384,830	2,193,560,362	2,160,165,242	2,111,668,758
次期繰越損益金	△ 353,419,190	△ 340,396,968	△ 330,131,013	△ 303,376,227	△ 307,320,711	△ 290,556,612
(D) 受益権総口数	2,315,804,923口	2,280,372,521口	2,222,384,830口	2,193,560,362口	2,160,165,242口	2,111,668,758口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,474円	8,507円	8,515円	8,617円	8,577円	8,624円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額	2,413,173,271円
当作成期中追加設定元本額	13,977,457円
当作成期中一部解約元本額	315,481,970円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は290,556,612円であります。

## ○損益の状況

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2020年11月17日～ 2020年12月15日	2020年12月16日～ 2021年1月15日	2021年1月16日～ 2021年2月15日	2021年2月16日～ 2021年3月15日	2021年3月16日～ 2021年4月15日	2021年4月16日～ 2021年5月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	44,752,832	13,480,355	7,355,093	27,902,152	△ 2,950,828	15,415,190
売買益	45,757,495	14,786,106	8,281,643	28,758,455	435,040	16,128,322
売買損	△ 1,004,663	△ 1,305,751	△ 926,550	△ 856,303	△ 3,385,868	△ 713,132
(B) 信託報酬等	△ 2,316,134	△ 2,443,605	△ 2,409,757	△ 2,139,560	△ 2,322,536	△ 2,394,065
(C) 当期損益金(A+B)	42,436,698	11,036,750	4,945,336	25,762,592	△ 5,273,364	13,021,125
(D) 前期繰越損益金	△345,226,422	△301,306,813	△286,049,434	△280,572,927	△253,611,548	△255,919,586
(E) 追加信託差損益金	△ 47,155,759	△ 46,706,347	△ 45,693,338	△ 45,275,552	△ 45,195,552	△ 44,490,648
(配当等相当額)	( 74,728,414)	( 73,597,076)	( 71,735,080)	( 70,813,586)	( 69,764,732)	( 68,218,972)
(売買損益相当額)	(△121,884,173)	(△120,303,423)	(△117,428,418)	(△116,089,138)	(△114,960,284)	(△112,709,620)
(F) 計(C+D+E)	△349,945,483	△336,976,410	△326,797,436	△300,085,887	△304,080,464	△287,389,109
(G) 収益分配金	△ 3,473,707	△ 3,420,558	△ 3,333,577	△ 3,290,340	△ 3,240,247	△ 3,167,503
次期繰越損益金(F+G)	△353,419,190	△340,396,968	△330,131,013	△303,376,227	△307,320,711	△290,556,612
追加信託差損益金	△ 47,155,759	△ 46,706,347	△ 45,693,338	△ 45,275,552	△ 45,195,552	△ 44,490,648
(配当等相当額)	( 74,730,093)	( 73,599,391)	( 71,736,509)	( 70,814,834)	( 69,770,482)	( 68,222,154)
(売買損益相当額)	(△121,885,852)	(△120,305,738)	(△117,429,847)	(△116,090,386)	(△114,966,034)	(△112,712,802)
分配準備積立金	11,721,908	12,368,180	12,105,666	12,912,662	12,154,586	13,054,756
繰越損益金	△317,985,339	△306,058,801	△296,543,341	△271,013,337	△274,279,745	△259,120,720

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	4,555,590	4,256,539	3,392,856	4,261,820	2,706,761	4,355,423
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	74,730,093	73,599,391	71,736,509	70,814,834	69,770,482	68,222,154
(D) 分配準備積立金	10,640,025	11,532,199	12,046,387	11,941,182	12,688,072	11,866,836
分配対象収益額(A+B+C+D)	89,925,708	89,388,129	87,175,752	87,017,836	85,165,315	84,444,413
(1万円当たり収益分配対象額)	( 388)	( 391)	( 392)	( 396)	( 394)	( 399)
収 益 分 配 金	3,473,707	3,420,558	3,333,577	3,290,340	3,240,247	3,167,503
(1万円当たり収益分配金)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)

## ○分配金のお知らせ

	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
1万円当たり分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

### ◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

### ◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

### ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金(特別分配金)にわかれます。

分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

### ◇元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## <お知らせ>

## <合併について>

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、2021年4月1日付でフランクリン・templton・インベストメンツ株式会社を吸収合併し、商号を「フランクリン・templton・ジャパン株式会社」に変更致しました。

## <主な約款変更に関するお知らせ>

当ファンドおよび当ファンドの主要投資対象である親投資信託「LM・ニュージーランド公社債マザーファンド」の信託約款中の委託者名を「レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社」から「フランクリン・templton・ジャパン株式会社」に変更しました。

(変更日：2021年4月1日)

# LM・ニュージーランド公社債マザーファンド

## 運用状況のご報告

第7期 決算日 2021年5月17日

(計算期間：2020年5月16日～2021年5月17日)

### － 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ニュージーランド公社債マザーファンド」の第7期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。 2. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	ニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行います。
組 入 制 限	1. 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 2. 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	純総資産額
	円	騰落率				
3期(2017年5月15日)	10,507	8.7	96.1	—	—	百万円 4,801
4期(2018年5月15日)	10,667	1.5	97.4	—	—	3,409
5期(2019年5月15日)	10,840	1.6	96.7	—	—	2,666
6期(2020年5月15日)	10,535	△ 2.8	98.4	—	—	2,054
7期(2021年5月17日)	12,455	18.2	97.9	—	—	1,826

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
	円	騰落率				
(期首) 2020年5月15日	10,535	—	98.4	—	—	—
5月末	10,836	2.9	96.8	—	—	—
6月末	11,193	6.2	98.0	—	—	—
7月末	11,401	8.2	97.9	—	—	—
8月末	11,690	11.0	96.1	—	—	—
9月末	11,606	10.2	97.0	—	—	—
10月末	11,505	9.2	95.7	—	—	—
11月末	11,932	13.3	98.7	—	—	—
12月末	12,044	14.3	97.6	—	—	—
2021年1月末	12,122	15.1	96.8	—	—	—
2月末	12,149	15.3	96.7	—	—	—
3月末	12,222	16.0	97.4	—	—	—
4月末	12,548	19.1	96.0	—	—	—
(期末) 2021年5月17日	12,455	18.2	97.9	—	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2020年5月16日～2021年5月17日)



### ○基準価額の変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。公社債利金を手堅く確保したことに加え、為替相場がニュージーランドドル（NZドル）高・円安となったことから、為替損益が大幅なプラスとなり、基準価額を押し上げました。一方、公社債損益については、債券利回りの上昇（価格は下落）を受けてマイナスとなりました。

当期のニュージーランド債券市場は、利回りが上昇しました。期の前半は、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などを背景に、利回りは上昇して始まりました。しかし、その後、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念が強まったことや、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）による量的緩和拡大などを受けて、利回りは低下（価格は上昇）しました。期の半ばは、市場の一部の利下げ予想に反し、RBNZが現行金融政策の維持を発表したことなどから、利回りの低下に歯止めがかかる展開となりました。その後、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が強まったことなどから、利回りは上昇しました。期の後半は、米バイデン新政権下での財政拡大観測から米国国債利回りが上昇した影響を受けて、ニュージーランドの債券利回りも上昇しました。しかし、その後、RBNZによる緩和的な金融政策が続くとの見方を背景に利回りは低下しましたが、当期末にかけては再び上昇しました。

社債セクターについては、国債利回りが上昇する中、社債利回りも上昇しました。当期の後半に、株式市場が下落したことなども社債市場にマイナスとなりました。

当期のNZドル・円相場は、NZドル高・円安となりました。期の前半は、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が高まったことなどから、NZドル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念が強まったことや、RBNZによる量的緩和拡大を受けて債券利回りが低下したことなどから、NZドルは対円で上値の重い展開となりました。期の半ばは、欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて、NZドル売りが優勢となる場面も見られましたが、その後、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が強まり投資家のリスク回避

姿勢が緩んだことなどから、NZドル買い・円売りが優勢となりました。期の後半は、債券利回りが上昇したことなどを背景に、NZドル買い・円売りが優勢となりました。その後、NZドルは一時下落する場面も見られましたが、ニュージーランド経済の回復期待が強まったことや、商品価格が高水準で推移したことなどを背景に、概ねNZドル買い・円売りが優勢となりました。

### ニュージーランド5年国債利回りの推移



### ニュージーランドドル/円レートの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

---

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。取得時において、原則として1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3以上）の格付けが付与された、またはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債に投資しております。当期の運用に当たっては慎重な方針で臨みました。資産配分については、金融債などの社債を厚めとしました。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

### ○今後の運用方針

---

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2020年5月16日～2021年5月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 9 (9)	% 0.080 (0.080)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	9	0.080	
期中の平均基準価額は、11,770円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年5月16日～2021年5月17日)

### 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル
外 国	ニュージーランド	国債証券	2,416 6,414
		地方債証券	1,988 2,097
		特殊債券	889 1,257 ( 70)
		社債券(投資法人債券を含む)	3,259 4,781 ( 950)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年5月16日～2021年5月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年5月17日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	%	%	%	%	%
ニュージーランド	21,374	22,610	1,789,148	97.9	—	47.1	37.7	13.2
合 計	21,374	22,610	1,789,148	97.9	—	47.1	37.7	13.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円		
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	1,665	1,972	156,063	2027/4/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	0.25	40	36	2,900	2028/5/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.0	1,105	1,216	96,292	2029/4/20	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.5	740	712	56,398	2031/5/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.5	1,405	1,604	126,943	2033/4/14	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	2.75	715	741	58,691	2037/4/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.75	960	810	64,163	2041/5/15	
地方債証券	AUCKLAND COUNCIL	5.806	590	669	52,994	2024/3/25	
	AUCKLAND COUNCIL	2.013	100	102	8,118	2025/7/10	
	AUCKLAND COUNCIL	2.95	130	113	8,970	2050/9/28	
	CHRISTCHURCH CITY HLDGS	3.4	565	586	46,448	2022/12/6	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5	1,300	1,507	119,277	2027/4/15	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	3.5	440	478	37,866	2033/4/14	
特殊債券 (除く金融債)	AVANZ 2020-1 A1	1.91	153	155	12,322	2052/4/15	
	INTL BK RECON & DEVELOP	4.625	300	304	24,127	2021/10/6	
	INTL BK RECON & DEVELOP	0.625	300	279	22,134	2027/9/24	
	LANDWIRTSCH. RENTENBANK	5.375	230	259	20,570	2024/4/23	
	NORDIC INVESTMENT BANK	3.875	250	277	21,934	2025/9/2	
	RESNZ 2020-1 A1	1.96	75	76	6,044	2052/10/16	
	普通社債券 (含む投資法人債券)						
ANZ BANK NEW ZEALAND LTD	3.7	200	211	16,751	2023/5/30		
ANZ BANK NEW ZEALAND LTD	3.03	500	527	41,730	2024/3/20		
ASB BANK LIMITED	1.83	400	407	32,260	2024/8/19		
ASB BANK LIMITED	1.646	500	496	39,268	2026/5/4		
AUCKLAND INTL AIRPORT	3.97	320	340	26,959	2023/11/2		
AUCKLAND INTL AIRPORT	3.51	100	106	8,412	2024/10/10		
BANK OF NEW ZEALAND	3.856	300	311	24,666	2022/7/27		
BANK OF NEW ZEALAND	3.648	400	426	33,759	2023/11/16		

銘柄	当 期 末					償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
ニュージーランド	%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円		
普通社債券 (含む投資法人債券)	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	4.005	400	422	33,467	2023/6/19
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	0.954	200	198	15,692	2023/9/25
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	2.393	150	153	12,131	2024/11/22
	CHORUS LTD	1.98	150	148	11,726	2027/12/2
	CONTACT ENERGY LTD	4.4	200	203	16,123	2021/11/15
	CONTACT ENERGY LTD	3.55	200	213	16,854	2024/8/15
	EXPORT-IMPORT BANK KOREA	4.0	300	308	24,412	2022/3/9
	FONTERRA COOPERATIVE GRO	4.33	500	507	40,193	2021/10/20
	FONTERRA COOPERATIVE GRO	5.9	400	415	32,905	2022/2/25
	GMT BOND ISSUER LTD	4.0	240	253	20,033	2023/9/1
	GMT BOND ISSUER LTD	2.559	100	93	7,393	2030/9/4
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	3.36	140	151	12,013	2025/6/12
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	3.42	360	395	31,327	2028/10/18
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	2.183	370	367	29,116	2030/4/24
	IND & COMM BK CHN NZ FRN	1.345	400	401	31,794	2022/6/27
	KIWI PROPERTY GROUP LTD	4.33	300	322	25,503	2024/12/19
	MERCURY NZ LTD	2.16	150	150	11,922	2026/9/29
	MERIDIAN ENERGY LIMITED	4.21	300	329	26,099	2025/6/27
	RABOBANK NEDERLAND	2.75	300	313	24,804	2024/3/4
	SPARK FINANCE LTD	3.37	400	424	33,619	2024/3/7
	TOYOTA FIN NEW ZEALAND	3.17	500	524	41,489	2023/9/12
	TOYOTA FIN NEW ZEALAND	2.71	250	260	20,575	2024/4/23
	TRANSPOWER NEW ZEALAND L	1.735	540	546	43,213	2025/9/4
	VECTOR LTD	3.45	140	148	11,782	2025/5/27
	WESTPAC NEW ZEALAND LTD	2.22	600	617	48,880	2024/7/29
合 計					1,789,148	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年5月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,789,148	94.0
コール・ローン等、その他	113,694	6.0
投資信託財産総額	1,902,842	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(1,821,903千円)の投資信託財産総額(1,902,842千円)に対する比率は95.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1ニュージーランドドル=79.13円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2020年5月16日～2021年5月17日)

該当事項はございません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年5月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,913,069,978
コール・ローン等	51,022,076
公社債(評価額)	1,789,148,652
未収入金	61,882,856
未収利息	10,936,326
前払費用	80,068
(B) 負債	86,328,909
未払金	81,302,542
未払解約金	5,026,343
未払利息	24
(C) 純資産総額(A-B)	1,826,741,069
元本	1,466,618,799
次期繰越損益金	360,122,270
(D) 受益権総口数	1,466,618,799口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,455円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	1,949,851,317円
期中追加設定元本額	21,805,034円
期中一部解約元本額	505,037,552円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ニュージーランド公社債ファンド(毎月分配型)	1,466,618,799円
---------------------------	----------------

## ○損益の状況 (2020年5月16日～2021年5月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	68,337,217
受取利息	68,259,587
その他収益金	89,021
支払利息	△ 11,391
(B) 有価証券売買損益	276,608,549
売買益	414,119,645
売買損	△137,511,096
(C) 保管費用等	△ 1,606,630
(D) 当期損益金(A+B+C)	343,339,136
(E) 前期繰越損益金	104,315,283
(F) 追加信託差損益金	3,609,935
(G) 解約差損益金	△ 91,142,084
(H) 計(D+E+F+G)	360,122,270
次期繰越損益金(H)	360,122,270

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <お知らせ>

### <合併について>

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、2021年4月1日付でフランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社を吸収合併し、商号を「フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社」に変更致しました。

### <主な約款変更に関するお知らせ>

信託約款中の委託者名を「レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社」から「フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社」に変更しました。

(変更日：2021年4月1日)